



# 若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう  
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

## 【巻頭言】

### 卒園

#### 園長 宮竹 恒

五色台の山にも桜の花が咲き、春の訪れが感じられるようになりました。

今年は、桜の花に見送られるように多くの子どもが学園を巣立ちました。

3月1日に在籍していた28名のうち半数以上の子どもが退園することになり、在園児が「寂しい」と話すことも例年より多かったように思います。

学園で過ごした時間は、子どもによって大きく違い、短い子どもは2ヶ月、長い子どもは6年になります。

長く学園で生活した子どもたちは、学園の伝統を継承し、学園の柱として成長しました。

中学3年生の中には、これまでの先輩の姿をよく見ており、先輩がしてくれたように、年少児と良く遊び、学園をまとめていきたいという思いを持つ児もいました。

新型コロナウイルス禍の中で入所した子どもの中には本来であれば実施される活動や行事を経験することなく退園した児もいます。

令和2年度は、これまでの活動や行事と違う取り組みになり、入所期間の長い児にとっても初めての経験が多い一年であったと思います。

巣立っていく子どものことを考えると様々な思い出とともに一人一人に伝えたい言葉は違います。

しかし、全ての子どもに共通して伝えたいことは、一つです。学園でコツコツと努力したことを大切にして欲しいという思いです。

中学3年生にとっては、志望高合格の為に最後まであきらめず、勉強したことかもしれません。学園に入所するまで、学校に行くことが難しく、高校進学にも希望が持てなかった子どもが志望校に合格し嬉しそうに報告してくれたこともありました。

小学生にとっては、毎日、学校に行くことも努力が必要であったと思います。

友だちとの関係についても良いことばかりではなく、時には喧嘩をし、話し合いを行うこともありました。自分を振り返り、相手の気持ちを考えることは、心の力をコツコツと磨くことになりました。

努力することは、一人一人の力ですが、仲間が存在があって続けることが出来たことも確かなことだと思います。

巣立っていく場所は、各々違いますが学園で努力したこと、努力を支え合う仲間がいたことを忘れずに新たな挑戦が出来るよう願っています。

最後になりましたが、子どもたちの成長を温かく見守り、協力して下さった保護者の皆様方、学校関係者の皆様方、児童相談所を始め関係機関の皆様方に心より感謝申し上げます。

## おわかれ会

今年はコロナにより、お別れ旅行が行えませんでした。何か子どもたちと思い出を作れないかと職員で考え、ドッキリ企画を考えました。スポー大会&お寿司です。当日に、発表すると、とても喜んでくれました。

午前中に、体育館でドッチボール大会を行い、その後の時間は各自で運動を楽しみました。ドッチボールでは、卒園する中学3年生を中心に、中学3年生VSその他の園生、中学3年生VS大人など様々な組合せでチームを分けました。大人も子どもも本気でボールを投げ合い、とても熱い戦いとなりました。



その後、くら寿司さんにもご協力いただき安全対策を行った上で昼食をとりました。今年は外食も出来てなかったもので、子ども達はとても喜んでいました。サーモンやマグロの他に、丼物や麺類のご飯、デザートをどれにしようかと迷いながら決めていました。またお皿を入れると商品が当たるシステムがありドキドキしながらお皿を投入して、当たったり外れたり一喜一憂していました。



最後に全員で遊べてよかったです。  
一番楽しかったのは、大人VS園生でした。  
中学2年 女子

## ダンス&漫才

子どもからの発案で、ダンスと漫才の発表会を行いました。ダンスを発表したいと思い立ったのは、発表のおよそ2週間前でした。ほとんど練習の時間がない中で各メンバーが一生懸命に練習をしていました。ダンスの練習をしている様子を見て、中学2年生の2人が「漫才をしたいです。」と言いに来てくれました。その2人も、練習の時間は1週間程しかなく学校の空いた時間や放課後の時間に練習をしていました。

最初の漫才では、子どもの大爆笑を起こし、場の雰囲気をよくしてくれました。



次のダンスでは、7人のメンバーがカッコよく決め、個人のパートもしっかりと踊り切りました。終わった後には、大きな拍手が起こりました。



緊張したけどちゃんと踊れてよかった。  
ダンス・中3男子

笑ってくれて、とてもやりがいがあった。  
漫才・中2男子

# 青峰・若竹学級だより 3月

3月は別れの月。本年度はコロナウイルス対策で、これまでの学校生活が大きく変化し、子どもたちは戸惑いながらも1年間頑張ってきました。その総仕上げが、26日の退園式。どんな笑顔で巣立っていくか楽しみです。



ホール前の掲示物 ⇒  
小学生が心を込めて協力して色を塗りました。



## 最後の体育

小学校は毎週月木の2回体育の授業を実施していましたが、15日で最後でした。縄跳びやボールを使ったゲームをしました。

さぬきっ子チャレンジカードに跳べた回数を記録しています。 ↓



## 今年最後の調理実習

学年末試験終了後に小中合同で調理実習を実施しました。4人グループで手分けをして楽しく作ることができました。蒸しケーキを各自カスタマイズし、中にチーズやあんこ、チョコレートのいずれかを入れ、外側はピーナツクリームや生クリーム、



チョコレートクリームを塗りました。そして大きめのイチゴをトッピングしました。美味しく食べ終えた後は、全員で協力して片付けやホールの清掃をしました。

## 終業式・離任式

24日は1階ホールで、3学期の終業式と離任式が行われました。9年間にわたって学習支援を担当していた大恵先生、中学校の長野先生、小学校の西川先生・榊元先生が今回の人事異動で転任になりました。離任式では、若竹学級・青峰学級での楽しい思い出と、学園の先生方へのお礼を述べていました。先生方、本当にお世話になりました。





3月26日に中学3年生と、小学年生の卒業式（卒業証書授与式）がありました。

新型コロナウイルスの関係もあり、今年は卒業生のみ参加となりました。



みんな名前を呼ばれて、はっきりと返事をして証書を受け取ることができていました。

式に参加して下さった先生方や、園長先生のお話を真剣に聞く姿に成長を感じました。最後に卒業生の立派な姿を見られてよかったです。



13日にバレンタインのお返しで、ホワイトデーのお菓子作りをしました。



男の子の希望者で協力し、美味しそうなガトーショコラが出来ました。

ホワイトデー当日の14日にみんなで食べました。女の子のみんなも喜んでくれて良かったです。

## 3月行事

11日	お別れ会
13日	ホワイトデーお菓子づくり
23日、24日	誕生日ケーキづくり
24日	終業式
26日	卒業式
1日、3日、5日	買物外出

### 在籍人数

令和3年4月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	4	2	6
中学生	9	1	10
合計	13	3	16

### ご寄付ありがとうございます。

玉木水象堂様                      お菓子沢山・現金  
 灸まん美術館様                      灸まん沢山  
 匿名    現金

**編集後記** 今月は、退園する子どもたちが多く、お別れの季節となりました。

退園をしても、まだどこかで頑張っている報告を聞いたら嬉しいです。ずっと応援してるよ、頑張れ！

大室



### 第324発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール [wakatake@4on.or.jp](mailto:wakatake@4on.or.jp)

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒

